

初年次医科学セミナー

【単位数:1.5単位, 授業22コマ】

1 科目責任者

宮本 淳 教授(心理学)

2 教育目標

(1) ねらい(I-6-c, I-7-c, I-8-c, II-3-c, III-1-c, III-10-c, IV-5-c)

- ① コアコンピテンスの「医学的知識」の概念を理解し「科学的探究心」を涵養するために、人文・社会・自然科学的事象を多角的に捉え、自分の力で課題を発見し、自己学習で問題解決するための能力を獲得する。演習等を通して、「コミュニケーション」における効果的な協働のために、相手に応じて適切な方法で情報の収集・集約・伝達を行うための基本的な技能・態度を習得する。
- ② 少人数セミナー単位での学修から、生涯にわたって共に学ぶ姿勢や学び続ける価値観を培う。医学生に相応しい教養を身につける。

(2) 学修目標

- ① 必要な課題を自ら発見できる。
- ② 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。
- ③ 課題を解決する具体的な方法を発見し、解決できる。
- ④ 課題の解決に当たり、他の学生や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。
- ⑤ 適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
- ⑥ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
態度	○	50%	授業内での様々な活動への参加及びその取り組みの状況を評価する。
その他	○	50%	授業内外でのレポート課題や発表内容(プレゼンテーション等)を評価する。

出席: 単位修得のためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

評価は各セミナーで行われる。各セミナーの評価方法とその割合はガイダンスで説明される。

(2) 合格基準

定期試験は行わない。

各担当教員が評価し、評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

各担当教員の指示に従う。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

課題や発表に対する教員からのフィードバックは、その都度、講義や演習において行われる。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
各担当者が適宜指示する。			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
各担当者が適宜指示する。			

6 準備学習（予習・復習）

毎週の授業内容は各担当者からあらかじめ指示されるので、それに従って事前準備を行うこと（1コマあたり約0.5時間）。

7 授業計画

(1) 講義の方法

セミナーの割り振りは、ガイダンスでの希望調査に基づいた上、人数調整を経て行う。毎週のセミナーでは、各担当教員のもと、ねらいに沿って少人数教育を行う。

(2) 講義の内容

具体的な1年間の授業内容は各担当教員から提示される。原則、前期は各教員の専門性に基づいた単独セミナーを行う。後期は複数のセミナーが融合し、複数の専門領域にまたがる学際的な合同セミナーを行う場合もある。